

バトン部、全国高校総文でW受賞

「全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)」が、7月29日から8月4日まで、全国からおよそ2万人の高校生が参加して鹿児島県で行われ、本校バトントワリング部が大分県代表で出演。同じく県代表の大分商業高校吹奏楽部の演奏でパレードした「パレード部門」でグッドパレード賞、アリーナで演技を披露する「マーチングバンド・バトントワリング部門」で講評者特別賞を受賞した。

今年の演技部門は、大河ドラマ「龍馬伝」をテーマに、幕末の奇跡と呼ばれた坂本龍馬の生涯を、ダイナミックに表現した。バトンを操るテクニックだけでなく、「表情」にもこだわり、本番直前まで、「睨む・鋭い目つき」「決意新たな力強い笑顔」など、顔や視線について練習を重ねた。毎年、いずれかもしくは両方の賞に輝いているバトントワリング部だが、その陰にはそのような地道な努力の積み重ねがある。

鹿児島から戻ってすぐに、2学期に行われるバトントワリング九州大会・全国大会へ向けて、早くも始動したバトントワリング部。猛暑に負けず、頑張っしてほしい。

